



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	37-6361-2	版	3.00
発行日	2023/05/22	前発行日	2020/12/14

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> カンピロバクター属菌用前増菌培地 病原菌自動検出システム用

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

微生物学的試験用

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	神奈川県相模原市中央区南橋本3-8-3
担当部門	Neogen Japan 技術グループ
電話番号	042-779-2475

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚感作性： 区分1

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

#### シンボル

腐食性 感嘆符

#### ピクトグラム

**危険有害性情報**

H318 重篤な眼の損傷  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

**注意書き****安全対策**

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
P280B 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

**応急措置**

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。  
P310 直ちに医師に連絡すること。  
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。  
P321 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

**廃棄**

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
牛肉抽出物	68990-09-0	20 - 30
ペプトン	91079-38-8	20 - 30
カゼインペプトン	91079-40-2	10 - 20
塩化ナトリウム	7647-14-5	10 - 20
酵母抽出物	8013-01-2	10 - 20
α-ケトグルタル酸	328-50-7	< 5.0
炭酸ナトリウム	497-19-8	< 5.0
ピルビン酸ナトリウム	113-24-6	< 5.0
硫酸鉄（II）七水和物	7782-63-0	1.0
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	1.9

**4. 応急措置**

## 応急措置

### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。粉じんを抑えるために、湿めらせるもの又は水をかける。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管

特別な貯蔵条件はない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	ACGIH	TWA : 5mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉄水溶性塩	7782-63-0	ACGIH	TWA (鉄として) : 1 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する

る。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。  
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き酸性ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	粉状
色	オフホワイト。
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	データはない。
引火性(固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点(下限)	データはない。
燃焼点(上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	データはない。
溶解度	完全に溶解する
溶解度(水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

## ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

未確定

### 混触危険物質

未確定

### 危険有害な分解物

#### 物質

#### 条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

#### 皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

#### 眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
塩化ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
塩化ナトリウム	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 10.5 mg/l
塩化ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 3,550 mg/kg
α-ケトグルタル酸	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
炭酸ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
α-ケトグルタル酸	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
炭酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 2,800 mg/kg
二亜硫酸ナトリウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
二亜硫酸ナトリウム	吸入-粉塵 / ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 5.5 mg/l
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 1,420 mg/kg
硫酸鉄 (II) 七水和物	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
塩化ナトリウム	ウサギ	刺激性なし
α-ケトグルタル酸	ウサギ	わずかな刺激
炭酸ナトリウム	ウサギ	刺激性なし
二亜硫酸ナトリウム	ウサギ	刺激性なし
ピルビン酸ナトリウム	In vitro data	刺激性なし
硫酸鉄 (II) 七水和物	ウサギ	刺激物

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
塩化ナトリウム	ウサギ	軽度の刺激
α-ケトグルタル酸	ウサギ	腐食性
炭酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
二亜硫酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
ピルビン酸ナトリウム	In vitro data	激しい刺激
硫酸鉄 (II) 七水和物	ウサギ	腐食性

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
二亜硫酸ナトリウム	マウス	区分に該当しない。
ピルビン酸ナトリウム	類似化合物	感作性あり
硫酸鉄 (II) 七水和物	マウス	区分に該当しない。

### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
塩化ナトリウム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
塩化ナトリウム	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
炭酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
二亜硫酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
二亜硫酸ナトリウム	In vivo	変異原性なし
ピルビン酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
硫酸鉄 (II) 七水和物	In vitro	変異原性なし

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
塩化ナトリウム	経口摂取	ラット	発がん性なし
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	ラット	発がん性なし
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	ラット	発がん性なし

### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 340 mg/kg/日	器官発生期
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 955 mg/kg/日	3世代
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 955 mg/kg/日	3世代
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 123 mg/kg/日	器官発生期
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配

### 標的臓器

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
α-ケトグルタル酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
二亜硫酸ナトリウム	吸入した	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類に	類似健	NOAEL 非該	



	場合		は不十分。	康有害性	当	
ピルビン酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
塩化ナトリウム	経口摂取	血液   腎臓および膀胱   脈管系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 2,240 mg/kg/day	9 月
塩化ナトリウム	経口摂取	神経系   眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1,700 mg/kg/day	90 日
塩化ナトリウム	経口摂取	肝臓   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 33 mg/kg/day	90 日
炭酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.07 mg/l	3 月
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 108 mg/kg/day	104 週
二亜硫酸ナトリウム	経口摂取	心臓   皮膚   内分泌系   造血器系   肝臓   免疫システム   筋肉   神経系   腎臓および膀胱   呼吸器系   脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 955 mg/kg/day	104 週
ピルビン酸ナトリウム	経口摂取	心臓   内分泌系   造血器系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.034 mg/l	28 日
硫酸鉄 (II) 七水和物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 0.005 mg/l	60 日
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	54 日
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	肝臓   免疫システム   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,034 mg/kg/day	90 日
硫酸鉄 (II) 七水和物	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,034 mg/kg/day	54 日

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

## 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
牛肉抽出物	68990-09-0	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ペプトン	91079-38-8	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
カゼインペプトン	91079-40-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
塩化ナトリウム	7647-14-5	液状化	実験	該当なし	NOEC	8,000 mg/l
塩化ナトリウム	7647-14-5	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	2,430 mg/l
塩化ナトリウム	7647-14-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	5,840 mg/l
塩化ナトリウム	7647-14-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	874 mg/l
塩化ナトリウム	7647-14-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	33 日	NOEC	252 mg/l
塩化ナトリウム	7647-14-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	314 mg/l
酵母抽出物	8013-01-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
α-ケトグルタル酸	328-50-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	102 mg/l
α-ケトグルタル酸	328-50-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l

α-ケトグルタル酸	328-50-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	16.7 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	藻類または他の水生植物	実験	96 時間	EC50	242 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	300 mg/l
炭酸ナトリウム	497-19-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	200 mg/l
ピルビン酸ナトリウム	113-24-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	カワマス	類似コンパウンド	96 時間	LC50	2.04 mg/l
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	92 mg/l
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	6.4 mg/l
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	緑藻類	実験	72 日	NOEC	51 mg/l
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	ミジンコ	実験	14 日	NOEC	2.6 mg/l
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	コリンウズラ	実験	14 日	LD50	>2,250 mg/kg(体重)
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	バクテリア	実験	17 時間	EC50	56.1 mg/l
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	48.1 mg/l
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	88.76 mg/l
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>10 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
牛肉抽出物	68990-09-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ペプトン	91079-38-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
カゼインペプトン	91079-40-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
塩化ナトリウム	7647-14-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酵母抽出物	8013-01-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
α-ケトグルタル酸	328-50-7	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	91 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

炭酸ナトリウム	497-19-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ピルビン酸ナトリウム	113-24-6	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	78 %BOD/ThOD	OECD 301F
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	4. 15-34 分 (t 1/2)	
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
二亜硫酸ナトリウム	7681-57-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
牛肉抽出物	68990-09-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ペプトン	91079-38-8	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	<0.3	
カゼインペプトン	91079-40-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	<0.3	
塩化ナトリウム	7647-14-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酵母抽出物	8013-01-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
α-ケトグルタル酸	328-50-7	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.4	
炭酸ナトリウム	497-19-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ピルビン酸ナトリウム	113-24-6	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.3	
硫酸鉄 (II) 七水和物	7782-63-0	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	≤52	OECD305-生体濃縮度試験
二亜硫酸ナト	7681-57-4	分類にデー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

リウム		タが利用できない、あるいは不足している。				
-----	--	----------------------	--	--	--	--

#### 土壤中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

##### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

#### 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
硫酸鉄（II）七水和物	鉄水溶性塩	該当	該当
二亜硫酸ナトリウム	二亜硫酸ナトリウム	該当	該当

### 16. その他の情報

#### 改訂情報

セクション 1：担当部門名 情報修正.

セクション 1：製品名 情報修正.

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 2：GHS分類 情報修正.

セクション 2：健康有害性 情報修正.

- セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- セクション4：毒性学的影響情報 情報の削除.
- セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション9：揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション15：法規名 - 表 情報の削除.
- セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**